

6年生 夢と希望を乗せて、ロケットを飛ばそう

令和5年9月26日(火)、北広島町内の6年生児童132名を対象に“北広島ふるさと夢プロジェクト事業「夢と希望を乗せて、ロケットを飛ばそう」”を開催しました。

北広島町・北広島町教育委員会と各小学校は、次のことを目指してこの事業に取り組んでいます。

- 植松電機 植松努代表取締役の講演を通して、夢をもち実現することの素晴らしさを学ぶ。
- ロケットを製作し発射させるという感動体験を通して、科学への興味関心を高める。

今年で9回目を迎えるこの事業は、これまでも小学校6年生が学びそして体験してきており、「6年生になったら体験できる・・・」と毎年子供たちが楽しみにしている事業です。今年度も、北海道から植松先生をお招きし、町内8小学校の6年生がKumahira Park 北広島(千代田運動公園)に参会しての講演会を実施しました。また、新型コロナウイルスによる行動制限緩和を受けて児童の学校間交流によるロケット製作を復活させ、天候にも恵まれたため現地で製作したロケットを発射しました。

講演会・ロケット製作の概要やロケット発射の様子等について紹介します。

植松努先生講演会 演題「思うは招く～夢があれば、なんでもできる～」

植松先生は、小さい頃からの夢であるロケット製作を実現するために、ロケットとは関係のない小さな会社で夢と希望をもってロケットづくりを始められ、自らの夢を実現するために努力を続け、民間では偉業ともいえる宇宙へ飛ぶロケット開発を成し遂げられました。6年生の子供達は、植松先生のユーモアと感動のある話に引き込まれ、将来への夢や希望をもって努力することの大切さを学びました。これから中学校へ進学する6年生にとって、とても価値のあるお話でした。講演会で植松先生からいただいた言葉を紹介します。



- 人の出会いには意味がある。→人は出会うことで変わることができる。
- 不安の向こうに喜びがある。
- 人は足りないからこそ助け合える。
- 人を助けるために必要なのは「やさしさ」なのです。
- 「ちがうはすてき！」→奇跡を起こせるキーワード
- 失敗も「何でだろう」「だったらこうしよう」と思うと力になる。
- 「失敗をしないために」を突き詰めると、何もできない、成長もできない、考えられなくなる。
- 自分の夢をどんどん人に話そう。
- 「どうせ無理」は、自分の自信と可能性を奪う最悪の言葉。
- 伝記を読もう。つらいことの乗り越え方が書いてある。



講演を聞いた児童の感想



植松先生のお話を聞いて学んだことは、自分の夢を追いかけて続けるということです。



植松先生のお話を聞いて心に残った言葉は、「足りない自分をだめだと思わない」という言葉です。わたしは、算数の計算がきらいで、あまりできなくてだめじゃんと思ひこんだことがありました。でも、これからは、だめだと思わずできることからどんどんやっつけていこうと思ひました。今日のお話を大切にして生活を送ろうと思ひました。

他校の同級生と協力して、夢のロケット完成!

ロケット作りでは、作り方が分からず困っていましたが、植松さんの「人は足りないからこそ助け合える。」という言葉思い出して、他校の人に自分から進んで聞き、助けてもらいました。また、困っている人を助けてあげることができました。新しい友達と素敵なロケットを作ることができ思い出になりました。



私がロケット制作で一番心に残ったことは、友達と助け合ったことです。植松先生が「一人でやるよりも、みんなで助け合った方が良いロケットが作れるよ。」と教えてくださいました。最初は緊張して他校の人と話せませんでした。協力してロケットを作るうちに班の人と仲良くなることができました。

ロケット製作・発射の様子

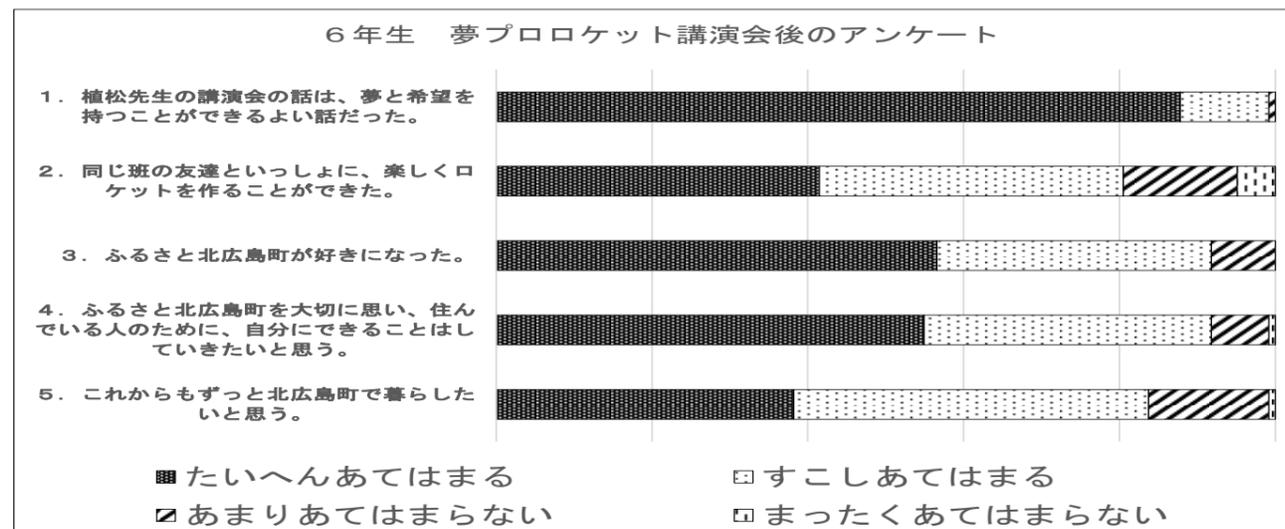


ロケットとばしでは、先に飛ばした人のロケットがうまくパラシュートが開かなかったのを見て、「自分のロケットがうまく飛ばなかったら」と考えて不安になりました。でも、自分のロケットがうまく飛んでとてもうれしかったです。そして、科学が進歩することはすごいと思いました。

となりの子と教え合いながら作成したロケットを、飛ばす時がやってきました。前の人からどんどん打ち上げていき、すぐに僕の番になった時にはとても緊張しました。発射のボタンをおした瞬間に、ロケットが高く飛んでいき、びっくりしたのと同時にとても嬉しかったです。

児童のアンケート結果

事業実施後に行った児童アンケートの結果です。



児童アンケートでは、講演会についてはほぼ肯定的評価で、継続して高い評価です。それ以外のアンケート項目については一定の否定的な回答がありますが、ほぼ9割の児童が北広島町に対して肯定的な思いをもっていることがわかります。

今年度は、ほぼ「コロナ禍」以前の実施形態に戻して実施できました。継続してプロジェクトの企画・運営にご尽力いただいている北広島町・北広島町教育委員会の皆様、また、運営に携わっていただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

